

第二報 聲明書

親愛なる吾嬭町民諸君

私達は過般の第一報の内容に於いて工場閉鎖の事由と吾嬭工場従業員組合として、本問題に對する大體の方策を發表した私達は、更に進んで従業員全体の意志を統一して左の要求書を作製し京モス重役に呈出した。私達は要求條件の内容の概略を明記し合せて町民諸氏の了解を得んとするものである。

- 一、現行賃金法の舊制復活
- 一、深夜業禁止後に對する補償條件
- 一、寄宿舎設置の改善
- 一、食事の改善
- 一、慰安會の開催
- 一、勤續賞與及び滿期賞與の舊制復活
- 一、小南工場長の責任處決

親愛なる町民諸君

私達が本問題を要求し、更に戦はねばならなかつた原因のものは賃銀支給制度を改悪した昨年の十月十八日に端を發して居るのである。

即ち全男女工員を食堂に集めて小南工場長は順々として、賃銀制度の改革は賃金の値下げを行つたものでない事を極力説いたのだ。

更に當工場が二十幾年間か實施して居た勤續賞與及滿期賞與は、其の八割を賃金に繰入れると約しながら約四割しか加へなかつた。そして後の六割は完全に沒收したのである。是れ即ち私達に對する賃金上の迫害でなくて何んであらう。然り改正後の賃金は工場長の自信ありげな聲明を裏切つて、極端に私達の經濟的生活の基礎を脅かした。殊に織機科に於ける千四百名の女工さんに支給せる賃金は改正前後を比較する時、拾五六圓から最低四五圓の減少を見せた。吾等は是等の餘りに極端な現實的窮迫の爲め、現行賃金法をして舊制に復舊せしめて戴きたい。亦是れが出來得ずんば何等かの方法に於てか賃金の減收に對して保證して戴く事を再度歎願した。けれども工場當局は唯京モス全体の賃金規則であるが故に、如何とも成す能はずの一言によつて常に少しの反省の色を見せなかつた。ここに昨年は聖上陛下の御盛典であり、八千萬の赤子は誠をこめて歡呼を絶叫する時、吾等は重大なる社會的問題を引き起して平地に波亂を起す事を注意し、銳意謹慎自重主義に終始した。會社は私達の沈黙を宜い事にして加速度的に勞銀を引下げて來た、吾等は飽迄も堪へ忍んで來た、併し私達は決して豚たる事を甘んずる者では斷じてない。

可憐な女工さん達の現行賃金制に對する反感は刻々重大化して來た。去る三月廿五日最後の要求として織部千四百名の名に於いて、差定給の設置を要求したけれども、搾取する事に於いて最も勇敢な要求として巧妙な方策の案出にのみ窮々する小南工場長は、一片の考慮をもせず是亦極めて勇敢に私達の要求を蹂躪した。會社當局の飽くなき不誠實に昂奮した織機科は、忽ち怠業情態に陥入つた。當月二日に至り、本問題は燎原の火の如く慰安會開催の問題と相交索して紡績科に及びトップに及び、更に仕上、整理殆んど全局面に擴大して行つた。小南工場長は事局極めて重大と見るや直ちに

工員を食堂に集めて一葉の警告文を讀み上げた、其の態度たるや實に冷淡にして更に従業員の甚大な反感を生ぜしめたより以外何物をも得る處がなかつた事は今更に云ふまでもない。

私達従業員組合は直ちに最高首脳部會議を開き、更に寺島署長を六名の代表者が訪問した。西仲間署長は懇々と社會情態と京モスの經濟的行詰りを説かれ、更に勞働組合とし最も重大な危機に置かれる吾嬭工場の現状を救ふ唯一の道は唯組合幹部の努力以外に何物をもないと申された。勞働組合の使命は勞働者の生活權確定をモットーとする以上、現實的に京モスの内容を見つめた時、諸君の鬭争の前途に横る者は、唯莫大な失業あるのみであり、會社は崩壊の止得なき情態に陥入るであらう……と吾等を戒められた。吾等は三者として最も冷靜な、そして純情唯兩者の平和と、幸福の爲めに……の西仲間署長の熱意ある言葉を胸にした時、今夏自分達の責務の重大なる事を知つた。直ちに開かれた組合の最高幹部會議は其の指令權を以て、織機科に對し梳毛科に漂泊、仕上全工場の各々の織場に向つて即刻に運轉を舊に復せしめ、製産情態の復舊の命令を發せんとした。委員は四方に馳つた、織場には幹部交々相寄り相談の結果、梳毛科は……漂泊、仕上科は……日眉裡に全運轉に至つた。然しなから流石織機科だけは問題の發祥地帯であり、現行賃銀制によつて一番多くの損失を受けて居る事とて、熱し切つた女工諸君の了解を得るに極めて困難だつた。委員は此點を充分に悉知し工場長の許可を得て「十分間でも十五分間でも宜いから、全女工員に戦ひの鋒を一時修めて、自治の準備は組合が一切其責に任ずべき事を話したいから」時間を與へて呉れと願つた工場長は私達委員に向つて曰く

「吾嬭工場の織場の混亂は何にも諸君の力を借りるに及ばず、更に本問題の爲め會社は莫大な損失を蒙つたのであるから、是非共其責任の明らかになせばならぬ。此點をお含み置き願ひたい……」

何んたる暴言であらうぞ、少なくとも浩火山にある吾嬭工場の此の重大化